

<2015年度 小学校の重点目標>

1) (民族的なもの)

○自分の民族に誇りを持てる心を育てる。

2) (学習面)

○子どもたちの学習状況に合わせた学習計画を設定し、学力向上・韓国語・英語の生活化をめざす。

○自分で考え、学級全体の前やグループ内で発表する力を育てる。

○家庭学習(宿題)の定着のため、家庭との協力を円滑に行う。

3) (人権的なもの)

○子どもたちの心身の成長と社会状況にそって、カリキュラムを作成し、体験学習を積極的に取り入れる。

4) (学校生活)

○進んで努力する子、はきはき元気な子、互いに助け励まし合う子どもを育てる。

○皆が共に、楽しい学校生活を送れるようマナー向上をはかる。

5) (小学校独自なもの)

○授業参観など公開行事を通して、いつでも学校をオープンにした開かれた学校をめざす。

○学年に応じた体験・学習を継続して研究し、保護者と協力し、実践していく。

2015 年度 建国小学校

学校評価アンケート(低学年 1-3 학년) 結果

実施: 2016.1.22.

A=매우 그렇습니다 B=그렇습니다 C=그렇지 않습니다 D=전혀 그렇지 않습니다.

A-よくあてはまる B-ややあてはまる C-あまりあてはまらない D-まったくあてはまらない

	A	B	C	D
학교에 가는 것이 즐겁다 (1) 学校へいくのが、楽しい	66%	25%	8%	1%
소풍이나 운동회 등의 학교 행사는 즐겁다. (2) えんそくやうんどうかいなどの学校ぎょうじは、たのしい	88%	11%	0%	1%
수업 중에 자주 발표한다. (3) じゅぎょう中に、よくはっぴょうする	27%	43%	19%	11%
수업은 알기 쉽고 즐겁다. (4) じゅぎょうは、わかりやすくてたのしい	57%	32%	8%	3%
수업 중에 실험·관찰·체험 등의 시간이 있다. (5) じゅぎょうの中で、じっけん・かんさつ・たいけんなどをするところがある	51%	31%	13%	5%
선생님은 알기 쉽게 가르쳐 준다. (6) 先生たちは、わかりやすくおしえてくれる	73%	20%	3%	4%
선생님은 내 이야기를 잘 들어 준다. (7) 先生は、ぼく・わたしのはなしをよくきいてくれる	60%	29%	7%	4%
장애가 있거나 어려운 상황에 있는 사람들에 대해 알고 있다 (8) しょうがいのある人やこまっている人たちのことをすることができる。	59%	32%	9%	0%
몸에 대한 공부를 통해 나의 몸에 대해 알게 되었다 (9) 体のべんきょうをして、じぶんの体のことがわかった	36%	28%	17%	17%
지진이나 화재가 일어났을 때 어떻게 하면 좋은지에 대해 학교에서 배우고 있다 (10) 学校で、じしんやかじなどがおこったときに、どうしたらよいか、おしえてもらっている	82%	16%	1%	1%
국어 공부나 민족적인 행사(어린이 축제 등)는 즐겁다 (11) 国語(クゴ)のべんきょうや、みんぞくてきなぎょうじ(オリニチュウツェなど)はたのしい	84%	12%	1%	3%

※100%にならないものは未記入があるためです。

2015 年度 建国小学校

学校評価アンケート(高学年 4-6 학년) 結果

A=매우 그렇습니다 B=그렇습니다 C=그렇지 않습니다 D=전혀 그렇지 않습니다.

A-よくあてはまる B-ややあてはまる C-あまりあてはまらない D-まったくあてはまらない

	A	B	C	D
학교에 가는 것이 즐겁다. (1) 学校へ行くのが楽しい	48%	40%	9%	3%

학예회나 운동회, 숙박 학습 등의 학교 행사가 즐겁다. (2) 学芸会や運動会、宿泊学習などの学校行事は、楽しい。	71%	23%	3%	3%
수업에서 나의 생각을 정리하거나 지명을 받아 발언을 하기도 한다. (3) 授業で自分の考えをまとめたり、指名されて発言したりしている	20%	49%	28%	3%
수업은, 알기 쉽고 즐겁다. (4) 授業は、わかりやすく楽しい	35%	54%	11%	0%
수업 중 실험·관찰·체험 학습을 많이 한다. (5) 授業で、実験・観察・体験学習をすることがよくある	29%	49%	22%	0%
선생님은 고민이나 상담을 잘 들어 준다. (6) 先生は、なやみや相談をきちんと聞いてくれる	38%	37%	22%	3%
아동회 활동에 관심을 가지고 적극적으로 참가하고 있다. (7) 委員会活動や課内クラブ活動に、関心を持って積極的に参加している	49%	40%	8%	3%
몸과 마음의 공부를 통하여 나 자신 친구의 차이를 이해하게 된다. (8) 体と心の勉強を通して、自分と友だちのちがいがわかる	39%	45%	14%	2%
장애가 있는 사람이나 어려운 상황에 있는 사람과 어떻게 지내야하는지에 대해 학습하는 기회가 있다. (9) 障がいのある人たち、困っている人たちにどう接したらよいのか学習する機会がある。	42%	42%	14%	2%
학교에서, 지진이나 화재 등의 재해가 일어났을 경우, 어떠한 행동을 취하면 좋은지 배우고 훈련하고 있다. (10) 学校で、地震や火災などの災害が起こった場合、どのような行動をとればよいか教えてもらい訓練している	67%	22%	6%	5%
우리 민족의 언어, 역사, 문화 등을 배우는 것은 즐겁다. (11) 民族の言葉、歴史・文化などの学習は楽しい。	41%	35%	18%	6%

2015 年度 建国小学校 学校評価アンケート（保護者）結果

実施: 2016.1.22-29 保護者アンケート回収率 82 %

A=매우 그렇습니다 B=그렇습니다 C=그렇지 않습니다 D=전혀 그렇지 않습니다.

A-よくあてはまる B-ややあてはまる C-あまりあてはまらない D-まったくあてはまらない

		A	B	C	D
全般	학교는 교육 방침을 알려 주고 있다. 1 学校は教育方針を伝えている	29%	59%	8%	1%
	학교는 학교행사나 건강지도 등에 관한 정보를 적절하게 제공하고 있다. 2 学校は学校行事や健康指導などの情報を適切に提供している	45%	53%	2%	0%
学習	수업은 알기 쉽고, 즐거운 것 같다. 3 授業はわかりやすく、楽しいようだ	42%	53%	5%	0%
	학교는 학생들의 학력 향상을 위해 힘 쓰고 있다. 4 学校は子どもの学力向上に力を入れている	41%	45%	12%	2%

環境安全	학교의 시설·설비는 학습 환경 면에서 만족스럽다.				
	5 学校の施設・設備は学習環境の面で満足できる	50%	45%	5%	0%
学校生活	학교는 학생들의 안전관리나 안전지도에 힘 쓰고 있다.				
	6 学校は子どもの安全管理・安全指導に力を入れている	43%	51%	5%	1%
	학교 분위기가 좋아 아이도 활기차게 학교 생활을 하고 있다				
	7 学校の雰囲気がよく、子どもが生き生きしている	62%	34%	4%	0%
人権	학교는 규칙이나 예절 등에 대해 적절한 지도를 하고 있다				
	8 学校はきまりやマナーなど、適切な指導をしている	46%	44%	9%	1%
	학교는 아이의 인권을 존중하고 집단 괴롭힘등의 인권침해를 용납하지 않는 자세로 지도에 임하고 있다.				
	9 学校は、子どもの人権を尊重し、いじめなどの人権侵害を許さない姿勢で指導に当たっている	36%	54%	9%	1%
民族	수업을 통해 장애가 있는 사람들이나 지원을 필요로 하는 사람들의 입장을 배우는 기회가 있다.				
	10 授業などを通じ、障がいのある人たち、支援を必要とする人たちの立場を学ぶ機会がある。	36%	59%	5%	0%
保護者と の連携	민족적인 학습이나 행사를 통해서 민족 교육에 충실을 기하고 있다.				
	11 民族的な学習や行事を通して、民族教育の充実に力を入れている	65%	34%	1%	0%
保護者と の連携	학교는 보호자의 상담에 적절히 응하고 있다.				
	12 学校は保護者の相談に適切に応じてくれる	45%	45%	9%	1%

※100%にならないものは未記入があるためです。

2015年度 学校評価アンケート 自己評価 <達成状況及び取り組み状況>

2015年度 建国小学校学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの評価結果をもとに、年度当初に出しました重点目標に照らし、教員の自己評価を行いました。以下の点を教員の共通認識とし、今後改善に努力していきたいと考えます。

(民族的なもの)

民族的なものに関する項目では保護者からは大変よい結果を頂きました。一方で学年が進むにつれて韓国語の授業を負担に感じる児童が少なからずいます。今年度から1,2年生で始まった co-teaching を軸に、韓国語に対する興味・関心を、学年が上がっても持ち続けられるよう創意工夫を重ねていきたいと考えます。

(学習面)

9割近くの子どもたちが授業は分かりやすく、楽しいと感じてくれています。反面、授業の中で積極的に自分の意見を発表する児童は約7割にとどまっています。これからの時代に必要とされている「発信する力」を身につけるためにも、児童が授業の中で自分の意見をしっかりと表現できるような授業研究を行っていききたいと考えます。

(人権的なもの)

9月に行われている人権教育推進月間が定着し、社会には支援を必要とする人、困っている人がいるということは一定認知できるようになってきたと思います。このことを教室にもフィードバックさせ、他人の痛みが分かる児童を育む教育を実践していきたいと考えます。

(学校生活)

アンケートからは9割近い児童は学校へ行くのは楽しく、また積極的に委員会活動や、クラブ活動にも参加していることが読み取れます。しかし一方で、学齢が上がるにつれ、困ったことが生じたとき、そのことが教員の側に適切に伝わっていないことが、多くなっています。児童が悩みをきちんと教員に相談できるよう、個々の教員だけでなく、学校全体の問題として、改善に取り組んでいきたいと考えます。

新校舎が完成し地震などに対する安全面は一定改善され、またICT機器などのハード面も少しずつですが、充実してきました。新しいICT機器の活用や、学級経営・学習指導・生活指導などのソフト面も教員一同さらに研究・研鑽を積んでいきたいと考えます。

保護者のみなさまのますますのご理解・ご協力よろしく申し上げます。

<2015年度学校評価・今後の改善方策>

(民族的なもの)

- ・児童の韓国語の実力を上げるため、子ども達の韓国語の使用頻度を上げること、子ども達の授業への積極的なかわりが求められる。そのために様々な角度から校内の環境を整える。子ども達の水準に合わせた補充学習を実施する。
- ・韓国語（授業など）に負担感をもっている（とりわけ上級生）児童に対して、今年度から1,2年生で始まったco-teachingを軸に、韓国語に対する興味・関心を、学年が上がっても持ち続けられるよう創意工夫・研究研修を重ねる。
- ・co-teachingの定期的な振り返り/研究を進め、より効果的な指導計画、指導方法を探る。

(学習面)

- ・一人当たりの指名回数、発表の機会を増やす為に、ミニボードなどを活用する。
- ・健康や体の学習が自分のこととして捉えられるよう、振り返りシートなどを活用する。
- ・皆の前で発表することに自信の持てない子ども達に対して、グループでの話し合いや発声練習、文章表現をしてから意見を言うなどの活動を通して、発表・発信する力を身につけさせ、進んで手を挙げ、発表できるように授業の中で指導を続ける。また、自分の意見をしっかりと表現できるような授業研究を継続して行う。
- ・教育機器（理科、社会のデジタル教科書）、体育器具などの購入・整備を進める。
- ・実験、観察学習の充実の為、理科室の整備を進める。
- ・授業研究のため、年間を通して、隣同士の学年での参観と意見交換を行う。

(人権的なもの)

- ・9月の人権教育推進月間が定着し、社会には支援を必要とする人、困っている人がいるということは一定認知できているので、このことを教室にもフィードバックさせるため、各ホームルーム（道徳）で他人の痛みが分かる児童を育む教育を実践していく。

(学校生活)

・9割近い児童は、学校へ行くのは楽しく、積極的に委員会やクラブ活動にも参加していることがわかるが、学年が上がるにつれ、困ったことが生じたときに、教員の側にそのことがきちんと伝わっていないことが多くなっている。日頃から、児童が自分の悩みを教員に相談できるよう、教師一人ひとりが子ども達の声に耳を傾け、いつでもゆとりを持って、対話ができる態勢を整える。

<評価>

・より明確な評価を実施する為に、「改善方策」・「重点目標」と照らし合わせて、アンケートの項目と内容の見直しを行う。

2016年3月22日

学校法人白頭学院 理事会 貴中

2015年度 建国小学校 学校関係者評価

学校法人白頭学院 建国小学校 学校関係者評価委員会
委員長 康民恵

日時： 2016年3月16日（水） 19時～21時

参加者： 教頭：黄裕錫、教務主任：梁真規

PTA 会長：康民恵、副会長：盧永全、保護者：呉尹順

まず、事前に各家庭に配布した「教員自己評価」をもとに、教務主任より、自己評価に関して、口頭で説明していただきました。

自己評価の結果の内容についてはほぼ適切であると思います。しかし、建国に通わせる保護者の多くの関心は(民族的なもの)と(学習面)でありますので、特にこの2つに関して重点的に、保護者の質問や要望をふまえて、協議しました。

1) 今年度の新しい取り組みである1、2年生を対象としたイマージョン教育について、現状では日本語の授業を前提に韓国語での説明をプラスするような形態 (co-teaching) になっているとの報告がありました。

韓国語に慣れるという目的で興味・関心に期待ができる反面、韓国語での補足説明に少なからず、時間を割くので、学力低下や授業理解の妨げにならないかとの保護者の懸念もあります。また、1年間韓国語を勉強してきた2年生と、はじめて韓国語に触れる1年生では当然とらえ方も違うはずで、対象となる生徒と保護者に対するアンケートは必須だったと思います。今回の学校評価アンケートにも項目がないことを疑問視する意見も出ました。

今後につなげるためにも保護者へアンケートを実施し詳細に検証し、今後の改善に向けて下さるよう要望します。

また、学年が上がるにつれ韓国語に対して消極的になっているとの見解が報告されました。保護者からは、韓国語の宿題に関して、やり方がわからないまま持って帰ってくることもあり、その結果宿題ができなかったり、間違えたまま行っていたりするとの意見がでました。

低学年の子どもの場合、日本語でも言葉の理解は十分でないので、なぜ宿題ができなかったのかを子どもに聞いて

たり、数回忘れてきたときは担任を通じて保護者にも確認の後、検証したり、することによって改善して頂くなど、より丁寧な説明やはたらきかけを行い、子どもたちが興味・関心をもって韓国語の授業に参加し、言語獲得ができますようお願いしました。

2) 学習面について、教員自己評価にもありますように、「発信する力」を見につけることがこれからの時代に必要とされているとの認識は妥当であります。近年学習指導要領の変更によって現場での授業形態やカリキュラムも大きく変わってきており、これらに対応すべく教師自身が教材研究や研修会に参加する必要があります。しかし、現状では人的に余力がなく、研修会などに参加することが困難な状況です。授業内容の充実を図るためにも教師の人的な補強が急務です。

3) 学校評価アンケートの1番の項目で「学校は教育方針を伝えている」で59%がBという結果でした。学校としてはプリント、説明会、懇談会を通じて方針を伝えているとのことですが、プリントは情報提供であり、学校としてその方針を伝えるべき方法は説明会や懇談会であります。これまで何度かあった説明会では、内容の説明が十分でなく現状報告にとどまっていたり、予定外の内容が発表されたりすることもあり、保護者が十分理解できていないことの結果だと思えます。

4) 「先生は、なやみや相談をきちんと聞いてくれる」でC,Dの否定的な意見が比較的多い

(学校生活)でも触れられていますが、高学年においてはC,D合わせて25(=1/4)もありました。近年しょうがいをもつ、もたないに関わらず、子どもの多様性について、ていねいに向き合えるよう、学校や現場の教師に多くの課題も課せられています。日々多忙な中で大変だとは思われますが、子どもは自分が必要な時に先生に聞いてもらいたいので、その機会を逃さないよう子どもに向き合うことを最優先していただきたいです。このことは学校全体の問題として改善に取り組んでほしいと思えます。

おわりに、子どもの軽犯罪も若年化していて、小学生が巻き込まれる様々な事件や犯罪も少なくありません。また、大きな思春期を迎える中学生に至っては、自殺や殺人につながるまでの暴力、薬物など凶悪な犯罪にまで発展しているケースもあります。幼いころから日常的にいのち・人権・平和と向き合うような教育環境が必然であります。各現場の先生方には学習指導だけでなく、人権、生活指導などの研修にも参加するなど、質の向上を図って頂けるよう、教師の人的な補強を希望し、子どもたちのより健やかな成長を育むことができる学校を目指して頂きたいと願っています。